

# 大学連携市民講座「大学から見た世界あれこれ」

愛媛大学と坂の上の雲ミュージアムが連携して開催する連続講座。  
坂の上の雲ミュージアムで、大学の研究者たちが海外調査で得た  
最先端の研究成果や、世界の現在について学んでみませんか。



8月6日(日) 10:30~12:00

## 「魚をめぐる生きものたちのつながり」

愛媛大学理工学研究科 准教授 畑 啓生 (はた ひろき)

太平洋のサンゴ礁、アフリカの古代湖、アマゾン川で、潜って  
観察した魚たちと、その糧となったり、魚に寄生したりする生き  
物たちとの関係性をみて、この地球上でどのように生き物たち  
が共に共存しているのか、その仕組みについて理解を深めます。



2004年京都大学人間・環境学研究科博士課程修了。近畿大学農学部水産学学科講師、愛媛大学理学部生物学科助教などを経て2016年より現職。  
サンゴ礁のなわばり性スズメダイの藻類栽培、アフリカのタンガニカ湖やマラウィ湖のシクリッド類の適応放散と多種共存、魚に寄生するウオノエの進化などを研究している。  
著書に『種間関係の生物学』(文一総合出版)、『生きざまの魚類学』(東海大学出版部)、『Biology of Damselfishes』(CRC Press)(いずれも共同執筆)など。

8月27日(日) 10:30~12:00

## 「ドイツの環境教育の今」

愛媛大学教育学部 准教授 竹下 浩子 (たけした ひろこ)

ドイツ人は本当に環境への意識が高いのか?ベルリンでの  
留学経験を踏まえてドイツの環境教育から考えていきます。



長崎市生まれ。大学院修了後、1999年~2005年にベルリン自由大学の博士課程で日独の環境教育の比較研究をおこなう。帰国後、くらしき作陽大学講師を経て、2013年から現職。持続可能な社会に向けた教育(ESD)の推進について研究をしている。

9月3日(日) 10:30~12:00

## 「日中韓国の学生による機械創成活動」

愛媛大学理工学研究科 助教 穆 盛林 (ぼく せいりん)

日中韓国の大学生が参加する共同作業で企画・設計・製作・発表する機械創成活動を紹介します。



2013年山口大学大学院理学研究科博士課程(工学)修了。広島商船高専電子制御工学科助教、准教授を経て2017年より現職に至る。知的制御、人間工学、ロボティクスなどの研究に従事。

9月30日(土) 10:30~12:00

## 「ヒマラヤ山麓の今を生きる人びと」

愛媛大学法文学部 准教授 石坂 晋哉 (いしざか しんや)

日本から遠く離れたインドのヒマラヤ山麓に住む人びとが今  
どのような日々を暮らしているのか、ご紹介します。



2008年京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程修了。2015年より現職。愛媛大学リサーチユニット「グローバル地域研究(GLOCAS)」ユニット長。  
インドの社会と環境、ガンディー主義運動などの研究に従事。  
著書に『現代インドの環境思想と環境運動』(昭和堂)、『インドの社会運動と民主主義』(編著、昭和堂)など。

申込方法

氏名、住所、電話番号を、坂の上の雲ミュージアムまで

締め切り

7月30日(日) / 定員40名程度 / 先着順

料金

1,200円(全4回分) **会場** 坂の上の雲ミュージアム3階会議室

問い合わせ

坂の上の雲ミュージアム(松山市一番町三丁目20番地)

TEL 089-915-2601 FAX 089-915-3600

